

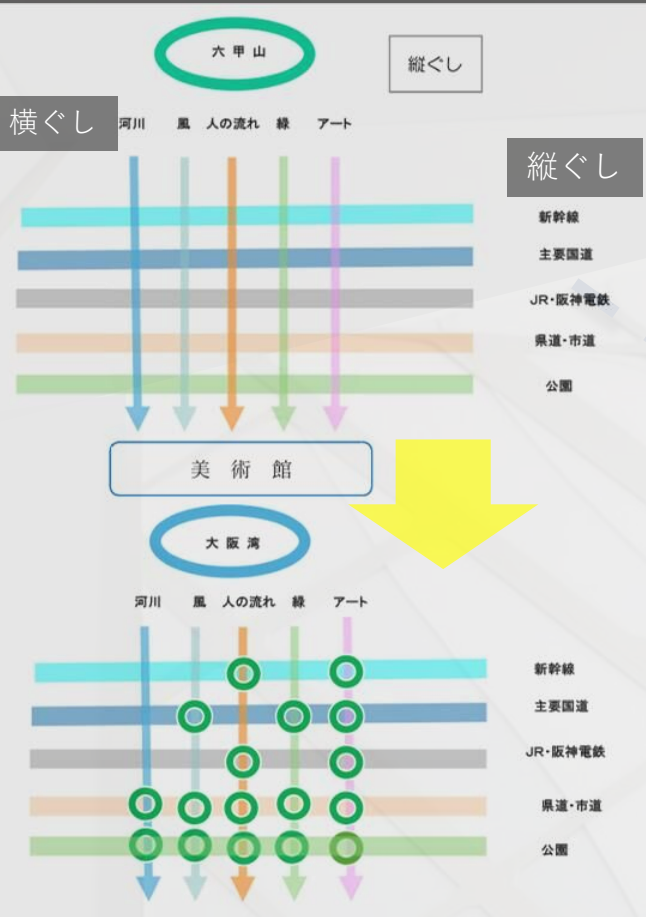
風とアートでつなぐ、文化の薫り高い、賑わいと潤いのミュージアムロード

～街路の結節点から人と人、エリアとエリアをつなぎ、賑わい、豊かで潤いある回遊性とウォーカブルな快適沿道空間を創出～

まちづくりの段階的なシナリオ・イメージ共有を目指して、まち歩きが楽しく、居心地のよい公共空間、ミュージアムロードを構築するため、官民が連携して都市の多様な魅力を醸成するための仕掛けづくりを提案したい

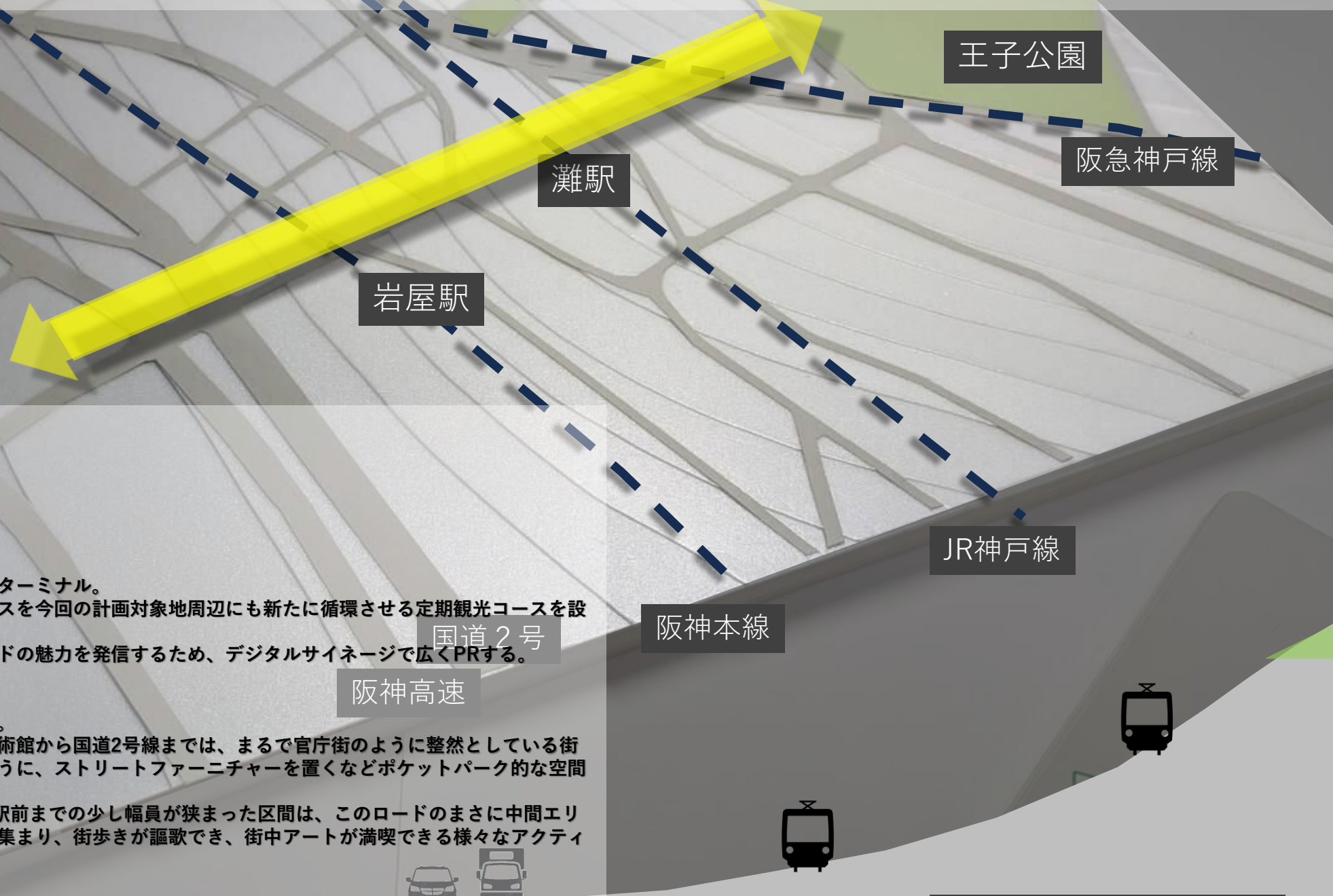


現状と課題分析



【現状】

- 海岸沿いと県美術館そして国道2号線までは、高低差を解消する遊歩道が整備され、ゆったりした沿道空間が生まれている。
- 新たな歩道橋を主体とする沿道は、整然とした幅広の街路空間が伸びているが、ガヤガヤ感、にぎわいといった地域の温かみを感じるエリアでは、まだない。
- その先の阪神本線、JR線を経て王子公園までは、道路幅員もやや狭小となり沿道の店舗も少なく、電柱と大きく育った街路樹がやや重い道路景観をなしている。
- 休日ともなると、たいへんにぎわう動物園、そのにぎわいが園の周辺、灘駅前商店街に全く流れ込んでおらず、波及効果が感じられない。
- 海岸沿いから王子公園までの縦断勾配がきつく、徒歩で、往来するにはたいへん厳しい。
- JR灘駅は、駅前広場が整備され、人が滞留しやすい空間を創出していて、駅構内は自由通路で駅の南北を通り抜けできるが、南北の道路と一体化しておらず、動線の連続性が確保されていない。
- 海岸沿いから王子動物園まで、一貫したコンセプトを有した道路空間とはなっていない。
- 王子動物園は、新スタジアム、緑の広場及び立体駐車場など、より魅力ある施設としてリニューアルすることを目的とした、再整備プロジェクトが用意されている。
- 市は、このミュージアムロードにおいて、美かえるカラフルプロジェクトと銘打って、街や人をつなぎ、にぎやかにしていこうという取り組みを実施している。



○ は街と人との結節点

防災力の強化、コミュニティの形成、そして市民アートなど、線の交差点・結節点をうまく活用し、点と点が結びつくようにしたい

- 新幹線
 - 新幹線は、神戸の玄関口。多くの人々の行き交うターミナル。
 - 三宮や元町あたりを周遊しているシティループバスを今回の計画対象地周辺にも新たに循環させる定期観光コースを設ける。
 - また新幹線や在来線の駅舎内にミュージアムロードの魅力を発信するため、デジタルサイネージで広くPRする。

- 主要国道、県道・市道
 - 街歩きが楽しく、居心地がよい歩道空間を整える。
 - 具体的には、まず歩道幅員が広いロードの県立美術館から国道2号線までは、まるで官庁街のように整然としている街の雰囲気をもつにぎわいや温もりが感じられるように、ストリートファニチャーを置くなどポケットパルク的な空間を整備する。
 - また国道2号線から阪神本線岩谷駅前を経てJR灘駅前までの少し幅員が狭まった区間は、このロードのまさに中間エリア、今回の対象地のセンターコアでもあり、人が集まり、街歩きが謳歌でき、街中アートが満喫できる様々なアクティビティが展開できるイベントなどを開催する。

- 河川・公園
 - 山と海が見える街並み景観は、幾多の災害を乗り越えてきた歴史の重みを感じる風景でもある。
 - 地形に感じる地層とともにここに培われてきた豊かな芸術・アートという文化層があることを紹介する
 - パネルを設置したりして、歴史・文化のレイヤーが感じられる街を爽やかな潮風とともに感じる空間とする。

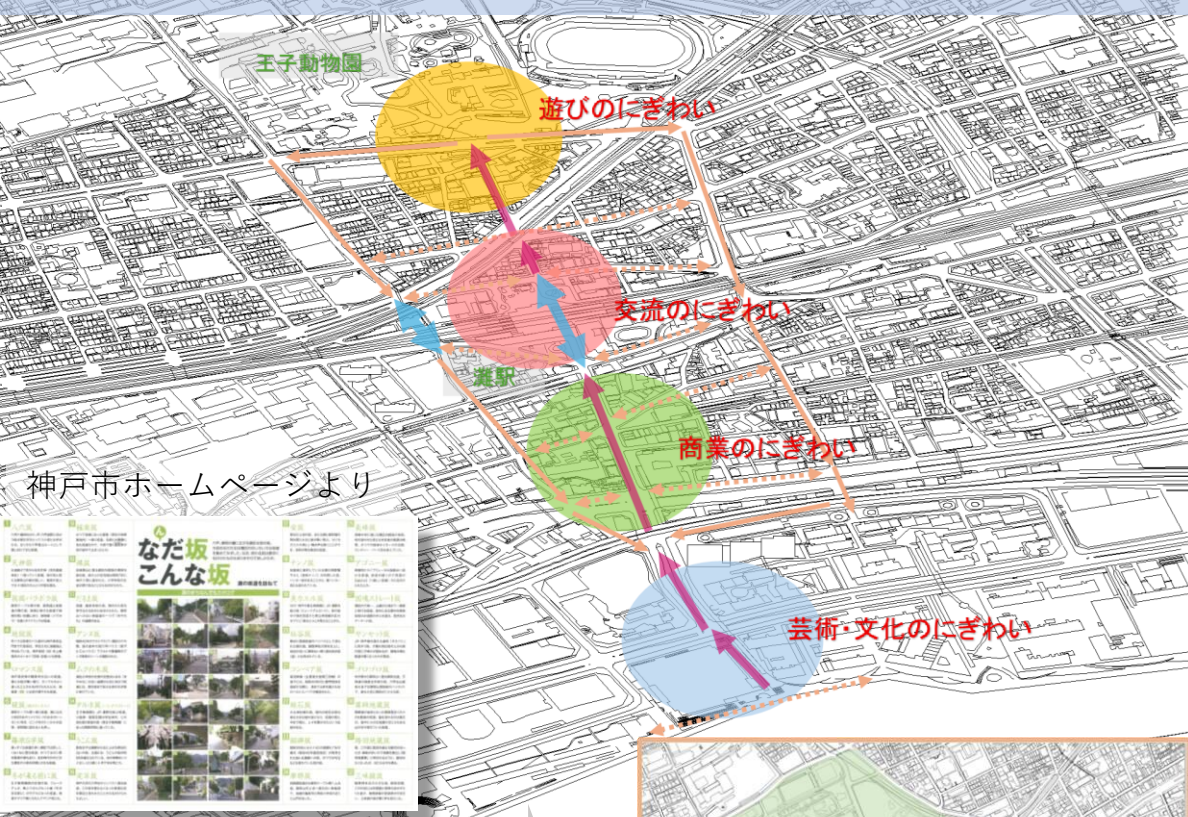
縦断勾配（イメージ）

（坂道の縦移動に対して、東西の横移動で円滑な移動をサポート）

提案

【提案1】官民連携の仕掛けづくり

- ・美術館をはじめとした主要公共施設や観光スポットなどを巡るシティループバスを官民共同で運行実施
 なお、運行開始にあたっては社会実験でニーズを把握
- ・まち歩きをサポートするボランティアガイドの実施
- ・まち歩きが楽しくなるお薦めガイドマップの作成・配布
- ・駅前マルシェの開催
- ・地域住民主催の防災体験交流プログラムの実施
 (修学旅行生などの受け入れ)

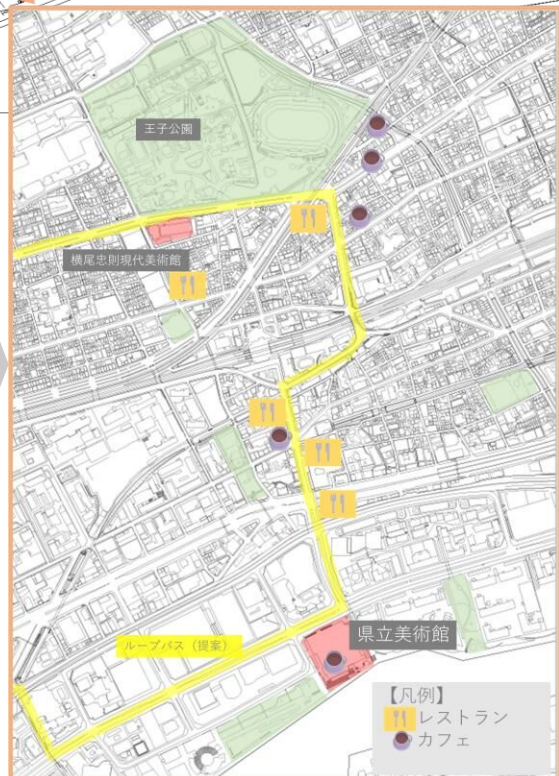


神戸市ホームページより



シティループバスの運行は坂バスとの連携で、より広域・周辺への周遊を可能とする

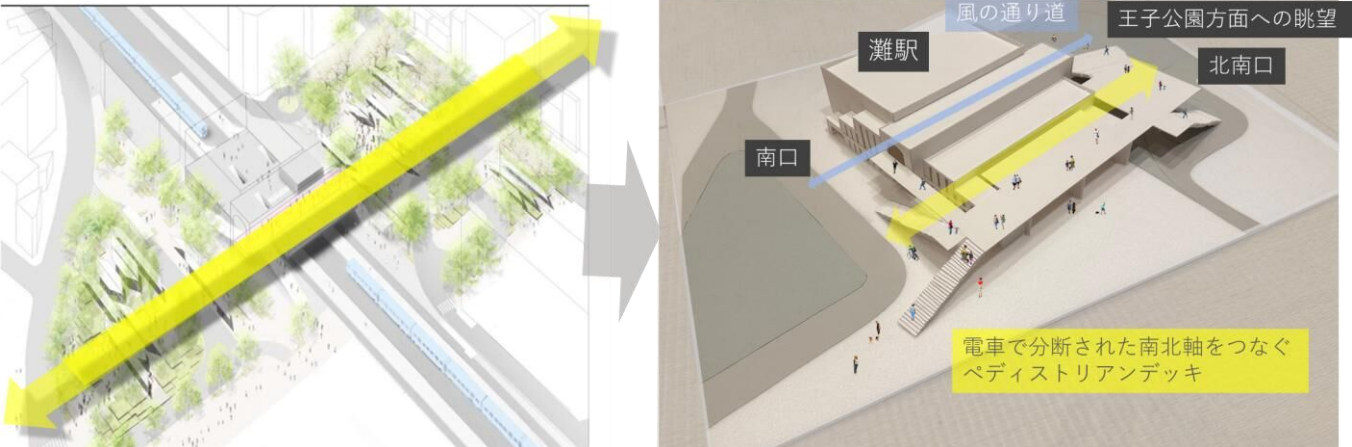
神戸市ホームページより



【提案2】回遊性創出の仕掛けづくり

- ・歩行者空間・動線の整備
 - 1) 灘駅の南北を直接つなぐペDESTリアンデッキの整備
 - 2) パンダストリートを歩行者専用道路とする
- ・ミュージアムロードでの坂道の移動を緩和できるよう、シティループバスを運行し、周辺エリアの周遊機能も果たす

(参考) JR灘駅前広場(南北)再整備の鳥瞰イメージ ※概略設計時に作成



電車で分断された南北軸をつなぐペDESTリアンデッキ



電車で分断された南北軸をつなぐペDESTリアンデッキ

王子公園方面への眺望

北口広場の滞留性の向上

【提案3】街の様々な結節点を活かした賑わいづくり

- ・歩行者が歩きやすいよう、狭い区間での街路樹やプランターの撤去、歩行者専用区間の新設などを行い、歩行者主体の歩道空間を整備、人の交流を促進する
- ・県立美術館から王子公園までの各エリアの結節点をキーとした滞留空間の整備
 (ストリートファニチャーの設置など)
- ・南北広場での駅前マルシェの定期開催 (地域の産品やクラフト品など販売)